

報道機関 各位

青森県農林水産部総合販売戦略課長
(公 印 省 略)

「だし活キッチンおにぎり」発売に伴う知事表敬について

今年度、弘前大学・青森県食生活改善推進員連絡協議会・楽天レシピ・株式会社ローソン・青森県の5者が、地域・WEB・店舗網を活用した健康な食事啓発プログラム「だし活キッチン」を協働で推進しています。

今回、「だし活キッチン」の一環として、株式会社ローソンが、青森県食生活改善推進員の考案レシピを基に、弘前大学・中路重之特任教授と料理研究家・浜内千波先生の監修により開発した「だし活キッチンおにぎり」を、県内のローソン247店舗で3月20日（火）から販売することとなり、その商品のお披露目のため、下記により知事を表敬しますので、取材してくださるようお願いします。

記

1 知事表敬

- (1) 日 時 平成30年3月20日（火）10時00分～10時15分
(知事表敬終了後、県庁西棟6階中会議室にて商品発表会を開催します。
10時20分ごろ～11時00分※撮影用・試食用の商品を準備しております。)

- (2) 場 所 第三応接室

(3) 表敬者

- 「だし活キッチンおにぎり」レシピ考案：青森県食生活改善推進員連絡協議会
会長 山谷 詠子（やまや えいこ）氏
副会長 小林 博子（こばやし ひろこ）氏
会計 斎藤 明子（さいとう あきこ）氏
- 「だし活キッチンおにぎり」監修
料理研究家 浜内 千波（はまうち ちなみ）氏
- 「だし活キッチンおにぎり」監修・「だし活キッチン」プロジェクト全体統括：弘前大学
特任教授 中路 重之（なかじ しげゆき）氏
COI 研究推進機構（医） 教授（戦略統括） 村下 公一（むらした こういち）氏
- 「だし活キッチンおにぎり」開発・販売：株式会社ローソン
運営本部 東北運営部 運営統括 浅野 友也（あさの ともや）氏
運営本部 東北商品部 部長 松本 茂（まつもと しげる）氏
商品本部 東北運営部 青森西支店 支店長 大内 孝司（おおうち こうじ）氏
商品本部 東北運営部 青森東支店 支店長 高橋 武利（たかはし たけとし）氏

2 「だし活キッチンおにぎり」の概要

(1) 販売期間 3月20日(火)～

(8月まで毎月1品ずつ発売。4/24(火)、5/29(火)、6/26(火)、7/31(火)、8/28(火))

(2) 販売店舗 県内247店舗

(3) 商品概要 株式会社ローソンプレスリリース資料のとおり(別添)

3 同席者

農林水産部 部長

油川 潤一

同 総合販売戦略課長

西村 達弘

商工労働部 新産業創造課長

下井田 幸喜



報道機関提供資料	
担当課	総合販売戦略課
担当者	地産地消グループ 吉田
電話番号	直通 017-734-9572 内線 5018
報道監	田中農商工連携推進監 内線 4966

(別紙) 「だし活キッチン」の概要

【背景】

青森県は平均寿命が全国最下位という、いわゆる「短命県」であり、弘前大学は短命県の汚名を返上し、健康長寿社会を実現するための研究に早期から取り組んでいます。青森県と青森県食生活改善推進員連絡協議会、「楽天レシピ」、ローソンが協働する今回の「だし活キッチン」は、センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム^{*}の活動の一環として開始しました。弘前大学大学院社会医学講座 中路重之特任教授 (研究リーダー) を中心に、料理教室、だし活、レシピサイト (<https://recipe.rakuten.co.jp/official/dashikatsukitchen/>)、店舗とそれぞれの特性を結束させた企画を展開しております。

弘前大学と青森県、青森県食生活改善推進員連絡協議会、「楽天レシピ」、ローソンの5者は、今後も、様々な企画を通じて、おいしく減塩できる、食を通じた健康啓発プログラムの普及に取り組んでまいります。



おいしく減塩 健康な食事啓発プログラム「だし活キッチン」イメージ

【国立大学法人 弘前大学について】

日本一の短命県＝青森県にある国立大学。「岩木健康増進プロジェクト」では、2000 項目の健診を10年以上にわたって継続し、その健康ビッグデータを活用した調査研究を現在も活発に行っています。2013年からは、センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム^{*}の活動の中で健康増進にむけた様々な取り組みや調査研究を精力的に行い、短命県返上＝健康長寿社会の実現を目指しています。

URL : <http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/index.html>

※センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) による公募型研究開発プログラムの一つです。将来社会に潜在する課題とあるべき社会の姿、暮らしの在り方を見据えたビジョンに基づき、企業だけでは実現できない革新的なイノベーションを創出すると共にイノベーションプラットフォームを整備する事を目的として、ビジョン毎に組織されたビジョナリーチームの評価・支援の下、産学連携による研究開発に取り組んでいます。

弘前大学は、ビジョン1「少子高齢化先進国としての持続性確保」(ビジョナリーリーダー 松田譲・元協和発酵キリン (株) 社長)として採択された7つの拠点の一つで、「真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点」(プロジェクトリーダー 工藤寿彦・マルマンコンピューターサービス、研究リーダー 中路重之・弘前大学)の中核機関です。